



トニーシャツを着て走る「東中職員チーム」

12月17日の『にしお駅伝大会』に東部中職員チームも出場しました。若手の先生を中心に5人がタスキをつないでいきました。フレンドリーの部ですので、駅伝という競技そのものを楽しむ気持ちでエントリーしたのですが、いざ、スタートのピストルになると、第一走者から真剣



に走る姿があり、誰一人力を抜かずに勇者の如く走り抜きました。コースは走り慣れていない坂道もあり、しかも強風。約2キロを走る選手たちに「無理しないで」と途中で何度も叫びたくなりました。走り終わった後に倒れこむ職員もいれば、空を見上げて呼吸を整える職員もいましたが、しばらくすると笑顔が戻り、満足感・達成感を味わっている様子もありました。



**結果は54チーム中の5位。陸上のクラブチームも参加している中でこの結果は本当に立派です。区間2位の記録を出した職員もいました。1位とは1秒差で大変悔しそうでした。**

日常の仕事でも全力で頑張る職員ですが、日曜日の仕事以外のフレンドリーな大会なのに、なぜ、こんなに頑張ったのか、たずねると、「**こういう夢の追いかけ方もあるんですね**」と一言。一生懸命に頑張ることで、必ず夢につながる、次につながると信じているから、力を抜かずに、次へとタスキを渡した。そう言い切る職員が本当に立派に見えました。



トニーシャツを背負って走りぬいた職員に勇気をいただきました。

さあ、次の夢へ 絆をつなごう！